

と云ふ様なを覚えるには、まことに難儀致しました
 夫に御國の言葉は、大變に長いです。私の國で久瀾
 と言へば、たゞ二言ですむのですが御國の語にしま
 すと、「いやどうも長々御無沙汰致しました」と云ふ
 辯ですから、中々大變に骨折れます。」

△序に、もう一つ支那人のことを記さんか。嘗て共に
 大に文學を論じて我國の漢詩に及ぶ。彼曰く。

「御國の詩は歌目です。私の國の詩を凡で講釋して
 歌てるのです。平仄も韻も私の國では樂器に合ひま
 す。御國の様では、これは一つも用がありません。」
 吾は此議論には一言もなかりき。



彙報

○東京府第一高等女學校。目下非常の狹隘を感じつ
 つある同校は、愈本年四月より麻布邊に新築し來年四

月頃までに完成せしむべく、完成の上は生徒數を六百
 人までに増員し、十五學級に編成すべき見込なりと。
 因に記す、同校本年の卒業生は五十八名にして新に入
 學せしむべき生徒は凡四十八名、來四月五六日頃入學
 試験舉行の筈なりといふ。

○東京府教育會附屬幼稚園保母傳習所。同傳習所は
 愈去る二月より開始することとなり、同月四日を以て
 開業式を舉行せり。幹事長岡五郎氏開會の辭を述べら
 れ、會長岡部子爵は左の意味の演說せられたり。

本會附屬幼稚園保母傳習所を開設すること今回を以
 て都合三回とす。思ふに社會が保母を要求すること
 近來頗る急に迫りて次第に保母の不足を感ずるに至
 りぬ。單に幼稚園の保母のみならず、家庭に於ける
 善良の保母の供給亦今日の急務となり、現に予の如
 きも、之を求むること、既に六ヶ月の久しきに渡り
 て尙未だ之を得る能はず。當所は、固より幼稚園の
 保母を養成するを目的とすといへども、亦家庭に在

りて母に代りて、人の子を育する保母となり得べき者は、實に亦本會に待たざるべからず。人の子を健全優良に育成するは即將來優良の國民を育成する所以、諸子の任務亦大なりと云ふべし。

次で中村同所長の適切なる演説ありて夫れく、懇篤なる注意を興へられて式を終えたりとなり。因に記す目下同所生徒は略卅五六名にして授業は一週十六時毎日午後四時より開始しつゝありといふ。

○東京市養育院入院者浮浪の近因。昨年七月以來九月に至るまで、同院に收容せられし浮浪の兒童三十七人につきて、彼等の自白する所に依り、其浮浪の源因を調査せしに。

父母の死後貧困にして、乞食となれるもの。(三人)

實父叔父等の叱責を受け、或は主人に叱責せられて

逃亡せしもの。(四人)

何の思慮もなく我儘に家出せしもの。(一人)

實父母又は繼母に棄てられたる者。(二人)

實父母、繼父母若くは雇主等の苛酷に耐え得ずして家出せしもの。(八人)

實父又は雇主の命に従はず。追ひ出されし者。(二人)

職業柄、自然に悪化せし者。(二人)

父母死亡し、叔父を尋ねんが爲に、浮浪せし者。

(二人)

祭禮に行かんとして、父の許さざりしより家出せし者。(一人)

遊びたきま、家出して歸らざる者。(一人)

不詳。(一人)

(東京市教育時報)

海外彙報

英國幼稚園の狀況

安井 てつ

私は子供が大好きで御座りますすけれども、保母に